

## 代替医療とは～

代替とは、「だいがえ」とは、読まずに「だいたい」と読みます。

以前にも書きましたが、「マクガバンレポート」の中で、アメリカは、増え続ける「医療費」と、増え続ける「病人」の対策として、「代替医療」の推進をしてきました。

**当然、西洋医学を大学で学んだ「医師」や「製薬会社」などからの「猛反発」があったのは、言うまでもありません。**

アメリカでは、毎年「癌コンベンション」という講演会があります。

(ちなみに、日本でもあります。今年で確か14回目)

今では、大学の大半がカリキュラムとして「代替医療」の講義を必須としています。

年間100時間ほどの時間を割きます。

**しかし、発足当時は「色々なメディア」から、猛反発をくらっています。**

公演会場には「西洋医学」を学んだ「医師」も参加し、「代替医療」の公演終了後、演者に「矢継ぎ早」に質問攻めをします。

「その、療法の、医学的、科学的な根拠は？」と言った内容の質問です。

矢継ぎ早に質問攻めにあった「演者」は、「しどろもどろ」になり、それをテレビで全国放送させるのです。

つまり、国やテレビ局も協力して「代替医療」の廃絶を、推進していたのです。

しかし、「国立衛生研究所」が調査するに従って、裁判官、検事、大学教授、医師らが、実は積極的に「代替医療」を取り入れているのが、判明しました。

**そして、積極的にアメリカでは「代替医療」を取り入れるようになりました。**

## では、「代替医療」とは、何か？

簡単に言うと・・・

「西洋医学(現代医学)の理論では、効果の理由がまだ証明されていない治療法」を指します。

例えば、インド医学の「アーユルヴェーダ」とか、漢方薬や鍼灸を使う「中医学」等の事です。

食事療法や、栄養素療法も、「代替医療」の範疇に入ります。

早い話「西洋医学」以外の「治療法」のすべてを「代替医療」と呼んでいます。

当然のことながら「西洋医学」を学んだ「医師」には、「正当な評価」をくださる筈はありません。

そのような「理由」もあって、当初のアメリカでの「代替医療」は、決して「順調」な滑り出しては、ありませんでした。

マクガバンレポートの、発表はそんな「アメリカ医療」を変え始めました。

1997年には、9つの州で「代替医療」が認可されました。

現在では、多くの州で「保険適用」にもなっています。

今では、国立保健研究所(日本で言うところの、厚労省)の「代替医療部」は、評価に値する「代替療法」には、積極的に「支援」しています。

そんな経過をたどり、今ではアメリカ全国民の80%以上の方が、代替医療の医師にかかった経験があるそうです。

今や、アメリカは国を上げて「医療費削減」の為に「代替医療」を積極的に「推進」しています。

当然のことながら「医師」は、「栄養素」の知識を身につけ、患者さんにアドバイスをし、病気の予防だけでなく、治療を行っています。

さらに、アメリカでは、無農薬有機栽培のオーガニックの農作物が一般的です。

我々は、「アメリカ = 農薬」

と考えがちですが、それは「大いなる」間違いです。

アメリカの農家は、こぞって、自分の農場を「有機栽培」に適した「農場」にしようとしています。



アメリカの一般的な「スーパー」...すべて「オーガニック」 (c) NPO LOHAS club

何故なら、アメリカ人の多くが、オーガニック製品を望んでいるからです。

アメリカのオーガニックの基準は、厳しく、2002年にこの厳しい基準が設けられて、全米において、この基準がクリアーできている農畜産物のみ、「オーガニック」を名乗る事が出来ます。

この「オーガニック市場」は、年々成長をつづけ、毎年20%以上の伸び率です。  
売上高は、日本円にして、約2兆円ほどになります。  
一方日本では、3000億円くらい～～ (-\_-#)

しかし、アメリカのみならず、ヨーロッパ諸国でも国を上げて「オーガニック」を推進しています。

取り残されているのは、今や先進国の中で「日本」だけ。。。。

日本の食事情は、今だ、昔の「欧米内容」では、あまりにも、「お粗末」としか言いようがありません。

ちなみに、当然ながら「オーガニック」の認定を受ける為に、農家は高いコストをかけて、農畜産物を作ります。

当然、「オーガニック製品」が、市場においても、他の製品と比べると「高い」です。

しかしながら、国民は「高くても、健康であり続ける為に(余分な医療費をかけるより安い)、そして、地球の自然環境の為に」。進んで、「オーガニック」を選択します。

最後に、

「ちょっと具合が悪い」

「え～大丈夫？病院行った？、薬飲んだ？」

と言う、思考回路を少し、解除しましょう！

アメリカでは、

「栄養価の高い食事をして、 ビタミン飲んで、ゆっくり寝て下さい」

で、おしまいです～